

## 部活動の中で困っていることが 分かった時、担任はどうする?

## ま ず は ここから



- 学級担任と部活動顧問の情報交換を綿密にします。
- 自律教育コーディネーターは、両者の仲介をします。
- 日常的に情報交換できる方法を工夫することが効果的です。

ナオヤさん(中1)はADHDと診断されています。中学入学後,小競り合いはたまにありますが,学級ではなんとかやっています。サッカー部の活動も,楽しみにしています。



【キーポイント】 学級担任は生徒理解を基にした情報を部活動顧問に緊密に提供できました。また、部活動顧問は部活動中の情報を細かく伝えました。そのようにしたことが、チームとしての対応を可能にしました。早期発見・早期対応も指導の効果を高めています。